

尊厳をもってその人らしく生きていく社会を目指して

デイケアニュース



- message : 富家隆樹副会長
- report : リハビリテーション・ケア合同研究大会大阪2025
- event preview : 第52回全国デイ・ケア研究大会2026 in 名古屋・愛知
- voice : 活動と参加してみた !  認定デイ・ケアマスターの声
- interview : すぽっと・らいと～あなたの職場のプロフェッショナル～
- 会員施設紹介 : 介護老人保健施設ハートランド



【協会HP】
<https://day-care.jp/>



一般社団法人全国デイ・ケア協会
Japan Association for Day Care

専門性と多職種連携こそが、通所リハビリテーションの存在価値そのものです。

全国デイ・ケア協会 副会長

富家 隆樹



皆さま、新年あけましておめでとうございます。令和8年の新春を迎え、こうして会員の皆さんにご挨拶できることを、大変嬉しく思います。日頃より、地域の生活を支え、利用者お一人お一人の「その人らしい暮らし」に寄り添う通所リハビリテーションの現場を支えてくださっている皆さんに、心より敬意を表します。

私事ですが昨年の総会において副会長の任を拝命いたしました。身に余る大役と自覚しておりますが、全国各地の現場で日々奮闘されている皆さまの声に耳を傾け、近藤会長のもと、共に学び、共に歩む副会長でありたいと思っています。何卒よろしくお願い申し上げます。

昨年も、介護・医療を取り巻く環境は大きな変化を迎え、制度改正、地域連携の強化、DXの推進など、私たちの取り組みにはさらなる創意が求められました。しかし、どのような変化があろうとも、私たちが大切にすべき使命は変わりません。それは「利用者が望む生活を、住み慣れた地域で続けられるように支えること」です。重度であっても、認知症を抱えていても、その人の望む暮らしを実現する専門性と多職種連携こそが、通所リハビリテーションの存在価値そのものです。

全国の各事業所では、生活行為向上の視点を基盤に、多職種の協働、地域サービスとのネットワークづくり、支援の継続性を高めるリハマネジメントが着実に進んでいます。もはや通所リハは「訓練を提供する場」から、「地域生活をデザインし、実現へと導く場」へと進化しつつあります。その変化の中心にあるのは、間違いなく皆さまの日々の実践と創意工夫の積み重ねです。

当協会としても、引き続き研修会のさらなる充実、実践事例の体系的な共有、最新情報の迅速な発信に努め、会員の皆さまの学びと挑戦を後押ししてまいります。特に、リハマネジメントの高度化、生活機能向上支援、認知症や重度者支援における実践知の共有、ICTの現場実装などは、これからの中の通所リハに不可欠なテーマとなるでしょう。

そして、2026年5月15、16日、岡田温大会長のもと名古屋・愛知にて開催される第52回全国デイ・ケア研究大会では、テーマ「Let's Create! –リエゾンで紡ぐ明日のデイ・ケア–」が掲げられています。まさに“リエゾン”をキーワードに、私たち自身の未来を創造する場となることでしょう。多くの皆さまのご参加を、そして現場のリアルな声と知恵が集まる場になることを心から期待しております。

令和8年が、皆さんにとって挑戦と成長に満ちた一年となりますよう、そして全国のデイ・ケアが地域の希望となるよう、皆さんとともに力を合わせ歩んでまいりたいと思います。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

知的好奇心は止まらない。止めてはいけない。

JADC研修会、新年度の予定を掲載。

当会では様々な研修会を企画しております。下記スケジュールをご確認の上、ご希望の研修会にお申し込みください。

JADC EVENT SCHEDULE

	開催日	研修会	開催地・開催方法
1月	16日(金)～18日(日)	在宅リハビリテーションエキスパート・ジェネラリストコース(第4クール)	オンライン開催
	24日(土)	明日から使える! 初めての通所リハ実践研修会(応用編) ～実例に学ぶ! 通所リハの応用力と実践力～	
2月	7日(土)	状態別対応セミナー中重度者編 ～介助で終わらせない! “できる”への支援～	オンライン開催
	21日(土)～22日(日)	生活行為向上リハビリテーション研修会	
	オンライン配信	個人情報保護対策セミナー ～通所リハにおける適切な個人情報管理とは～	
3月	7日(土)～8日(日)	在宅リハビリテーションエキスパート・ジェネラリストコース(第5クール)	東京都千代田区
	オンライン配信	第14回デイ・ケアスキルアップセミナー	オンライン開催
4月	25日(土)	第11回三団体合同研修会 多職種・多事業所で行う退院支援 ～情報共有と環境調整をいかに考えるか～	ホテル自治会館(鹿児島) ※ハイブリッド開催

※最新情報は当会ホームページをご参照ください

公式SNSのご紹介

当会では公式SNSとして新たにXの運用を開始しました。この機会にフォローをお願いいたします。

X 公式アカウント



LINE公式アカウント



Facebook公式アカウント



要注目

会員限定

ON DEMAND

会員向け無料教育セミナー定期配信中

全国デイ・ケア協会では、会員限定にオンデマンド配信による教育セミナーを開催しています。第24弾は「栄養とりハビリテーション」を開催しました。視聴者アンケートからは大変好評をいただいている。本セミナーが会員の皆様のお役に立てますと幸いです。

会員向け無料教育セミナー 配信スケジュール

令和7～8年 12～1月配信 痢縮に対する包括的アプローチ
2～3月配信 口腔リハビリテーション



今後も
様々なテーマを
企画検討中です!



当会ホームページの会員ページをリニューアル予定!

旧会員ページ

- 各種資料ダウンロード
- 認定ディ・ケアマスター申請書類
- 研究大会抄録集
- 調査関連

新会員ページ/

- 各種資料ダウンロード
- 研究大会抄録集
- 調査関係
- 会員事業所の取り組み紹介 **NEW**
- リハビリテーションマネジメント **NEW**

新しいコンテンツが盛りだくさん! • • • • • • • • • • •

各種資料ダウンロード

総会議案書や認定ディ・ケアマスター申請資料など、会員の皆様に役立つ資料を多数ご用意しています。さらに、通所リハ運営に必要な申請書類について書類のリストやひな形を掲載しています。

会員事業所の取り組み紹介

会員事業所の取り組みについて、事業所規模や加算・職種等様々な視点からご紹介いたします。また、会員事業所のLIFE利活用状況についても取り上げる予定です。



会員事業所の取り組み紹介(例)

利用定員・事業所規模：定員70名・大規模（通常規模の基本報酬を算定）

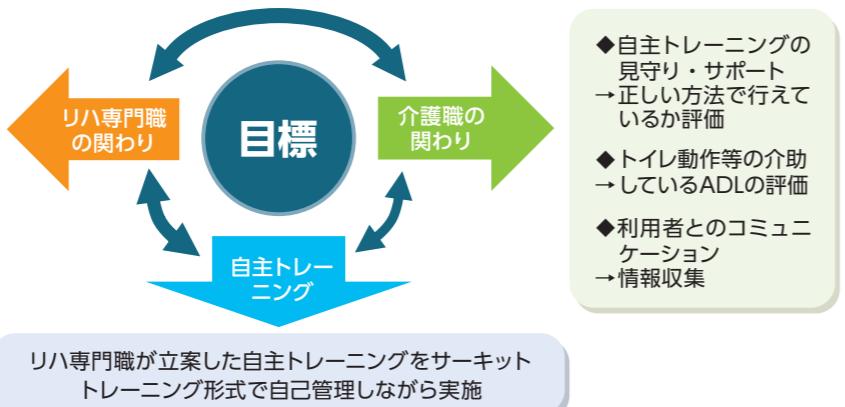
提供時間：3時間以上4時間未満

職員数：医師1名（兼務）、PT7名、OT5名、ST0.8名（兼務）、
介護職（リハ助手）8.3名、介護職（送迎ドライバー）5.4名、
看護師0.8名、相談員1名、事務員2名、管理栄養士1名（兼務）



紹介カテゴリー：個別介入

取り組み内容：個別リハ（1:1）以外の時間を有効活用できるように関わっています



リハビリテーションマネジメント

リハビリテーションマネジメントとは、利用者それぞれの状態や目標に併せて最適なリハビリテーション計画を立て、効果的に進めていくための取り組みです。こちらではリハビリテーションマネジメントに対する考え方や具体的な内容について、SPDCAに沿って詳しくご紹介いたします。

上記は会員限定のコンテンツになります。会員の皆様は、リニューアル次第ご案内いたしますので是非ご覧ください。非会員の皆様は、これを機に是非入会をご検討ください！

【入会案内はこちら】



リハビリテーション・ケア 合同研究大会 大阪 2025

2025年11月21日（金）～22日（土）に大阪府大阪市において『リハビリテーション・ケア合同研究大会 大阪2025』が開催された。本研究大会は2,400名を超える方が参加し、大盛況な大会となった。



さて、本大会は島田永和大会長（はあとふるグループ代表）による大会長講演から始まった。テーマは“動いてナンボ！動かしてナンボ！－「動く」が支える人・地域・日本－”である。非常に幅広い内容の講演や各主催団体シンポジウム等が企画され、参加者にとって学びの多い大会になったことだろう。

本大会において当会では、「現場から見える医療・介護連携の課題と展望～切れ目ないリハ・ケアを実現するために～」と題したパネルディスカッションを企画し、当会の多良淳二理事・金森毅繁監事が座長をつとめた。詳細は下記をご覧い



ただきたいと思うが、令和6年度トリプル改定においてさらに促進された医療・介護連携をテーマに、退院前カンファレンスを主とした連携に向けて取り組まれている施設からの報告を交えながらディスカッションを展開した。当日は聴講者で会場がいっぱいになるほど盛況であり、連携のヒントを求めている方が多いと実感されたセッションとなった。

次回の開催地は高知。新たな学びの場になることを期待するばかりである。



主催団体企画

当会ではテーマを「現場から見える医療・介護連携の課題と展望～切れ目ないリハ・ケアを実現するために～」と銘打ち、パネルディスカッションを開催した。座長は当協会の多良淳二理事・金森毅繁監事が務め、シンポジストとして野尻晋一副会長、竹重雄太氏（霞ヶ関南病院）、福岡由規氏（介護老人保健施設鴻池荘）が登壇した。

令和6年度介護報酬改定において、通所リハビリテーション・訪問リハビリテーションに「退院時共同指導加算」が新設された。この加算では、退院前カンファレンスへの参加を通じて、医療機関のスタッフと介護事業所のスタッフが共同で指導を実施し、その内容をリハビリテーション計画に反映させることが求められている。この加算の導入により、医療機関は退院後に必要な介護サービスを見据え、通所・訪問リハビリテーション事業所は積極的に退院前カンファレンスに参加することが期待されている。しかしながら、実際は退院前カンファレンスに参加することが叶わないケースが散見され、本加算の算定も進んでいない実態がある。

上記を踏まえて改定の背景を含む医療介護連携のポイントを野尻副会長より説明されたのち、竹重氏からは医療機関（回復期リハビリテーション病棟）の立場から、福岡氏からは介護事業所（通所リハビリテーション）の立場から、退院前カンファレンスを通じた連携について実践と課題を報告いただいた。



実際に取り組まれている事業所の報告は、まだ取り組みを進められていない方にとっても刺激的な内容だったと感じる。

医療介護連携は今後もますます強化されていることが推察されるため、全国の事業所が積極的に取り組みを進めることが求められるだろう。今回の企画が参加者の一助になると嬉しく思う。



第52回 全国デイ・ケア研究大会 2026 in 名古屋・愛知

テーマ

Let's Create! —リエゾンで紡ぐ明日のデイ・ケア—



会期 2026年5月15日(金)～16日(土)

会場 ウインクあいち(愛知県産業労働センター)

大会長 岡田 温(医療法人財団善常会 理事長)

主催 一般社団法人 全国デイ・ケア協会

主管 医療法人財団善常会

大会HP <https://www.k-gakkai.jp/daycare2026/index.html>

演題募集中

2026年1月31日(土)まで



このたび、第52回全国デイ・ケア研究大会を、2026年5月15日(金)・16日(土)の2日間にわたり、愛知県名古屋市にて開催させていただきます。

本大会のテーマは『Let's Create!—リエゾンで紡ぐ明日のデイ・ケア—』

介護DX、多職種連携やタスクシフト、利用者のエンパワーメントの促進、新技術の活用など、新しい切り口でこれからも利用者一人ひとりの生きがいや自己実現を支援して、QOLの向上を目指すことができる集団である術を、共に創造する時間としたいと思います。

名古屋は、2026年秋にアジア競技大会・アジアパラ競技大会の開催が予定されており、またリニア中央新幹線開業に向け再開発が進むなど、新たな魅力が創出されようとしています。この機会に名古屋にお越しいただき、名古屋飯をご堪能頂ければと思います。初夏の名古屋で皆様のお越しをお待ちしております。



プログラム1日目

- ・開会式
- ・大会長講演
- ・協会長講演
- ・特別講演: 「リハビリテーション医学の地域における可能性」
藤田医科大学リハビリテーション医学講座
主任教授 大高洋平先生
- ・交流会
- ・口述演題24演題、ポスター演題30演題



※全て仮テーマ、状況によりプログラム変更の可能性があります。

プログラム2日目

- ・開催地企画シンポジウム:
「リエゾンで紡ぐ転んでも骨折しないまちづくり」(八事整形医療連携会)
「地域に選ばれる事業所を目指して～既存ブランドの陳腐化を防ぐ
リブランディング戦略～」(東海慢性期医療協会)
- ・協会企画シンポジウム:
「認定デイ・ケアマスター・在宅リハEGコース修了者実践報告」
「通所リハにおける安全管理～転倒・転落の実態調査から～」
- ・口述演題18演題・ポスター30演題
- ・閉会式



※全て仮テーマ、状況によりプログラム変更の可能性があります。



大須商店街



笠寺観音



今回の活動と参加してみた!には「リハビリテーション・ケア合同研究大会大阪2025」「状態別対応セミナー介護予防編」「戦略的事業運営セミナー」にご参加された3名にご登場いただきました。様々な場で多くの発見や学びが感じられています。熱い想いをご一読ください。



@ リハビリテーション・ケア合同研究大会大阪2025

今大会は、「動いてナンボ!動かしてナンボ!—動くが支える人・地域・日本—」というテーマで開催されました。私はこれまで急性期、回復期を経験し、現在は通所リハビリテーションで利用者の在宅生活を支援していますが、今回のテーマはどの領域にも共通して求められる本質を捉えていると改めて実感しました。

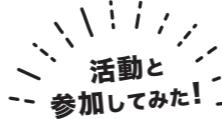
私は当事業所で取り組んでいる研究活動の発表を行い、いただいたご意見をもとに自身の研究の課題や今後の展望を改めて整理することができました。また、全国各地から多職種が参加しており、交流を通じて地域ごとの課題や各事業所での特色ある取り組みを知ることができました。

参加した教育講演「リハ・口腔・栄養の三位一体」では、栄養や口腔に対する取り組みの重要性も再認識しました。一緒に参加した同僚と当事業所での課題に応用できそうな点を考えながら聴講し、今後の具体的な取り組みを検討できることは今回の大きな収穫の一つです。

また、個人的には、学会に参加する最大のメリットは日々の仕事へのモチベーションを高めてくれることだと感じています。今回得た学びと熱量を、今後の業務や自己成長につなげていきたいと考えています。



東京湾岸リハビリテーションセンター
理学療法士 長井 大悟



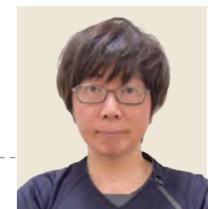
@ 戰略的事業運営セミナー～選ばれ続けるデイケアへ! 実践で学ぶ事業強化のすべて～

私はデイケアに勤務する作業療法士です。業務としてはリハビリ業務に加えマネジメント業務も行っている、いわゆるプレイングマネージャーとして携わっています。当初マネジメント業務について、それまでのリハビリ中心の業務とは全く異なるもので、非常に混乱した事を覚えています。それからはプレイングマネージャーとして何とか日々の業務を遂行してきた中で、しっかりと知識を持たず手探りのマネジメント業務を行っている事に不安を感じていました。

その折に本セミナーがある事を知り参加致しました。地域住民の方々へ当デイケアのリハビリをどの様に広く届けられるか、当デイケアと他デイケアを比較した上での戦略、プレイングマネージャーの働き方など、普段の業務から

常に悩んでいる事にフォーカスが当たった講義が多くありました。本セミナーを通し手探りのマネジメント業務から脱するヒントをいろいろと学ぶ事ができました。ぜひ日々のマネジメント業務で悩んでいる方は参加してもらえると良い学びの機会になると思います。

また今回はオンラインでの参加でしたが担当スタッフの方々が適宜サポートして頂き、分かりやすく非常に安心して参加する事ができました。



武藏嵐山病院
作業療法士 上野 匠人

認定デイ・ケアマスターの声



Master's Voice

金子 祐紀 (理学療法士)
大誠苑通所リハビリテーション



意義深い取り組みです。高齢者は子どもたちとの触れ合いを通じて自然と笑顔や意欲が引き出され、認知機能や情緒面にも良い影響が見られます。子どもたちにとっても、高齢者への思いやりや感謝の心を育む貴重な機会となっており、世代を超えた相互理解の場となっています。こうした世代間交流を重ねる中で、デイケアが「施設」という閉じた空間ではなく、「社会の一部」として機能することの重要性を認識しています。

プログラムで特に力を入れているのが、役割活動の提供や再獲得です。利用者様が「誰かのために」「自分の役割を持って」生きられるような関わりを意図的にプログラムに取り入れ、生きがいを感じられる場としてのデイケアを目指しています。洗濯物をたたむ、配膳を手伝う、花の水やりをするといった活動は、利用者にとって「必要とされている」という実感につながり、自尊心や意欲の向上に大きく寄与しています。

これからも、認定デイ・ケアマスターとして包括的かつ実践的な支援の充実を目指します。機能訓練にとどまらず、生活の質の向上、社会参加の促進、地域とのつながりづくりを三本柱として、利用者様とそのご家族に寄り添った支援を継続していきます。

@ 状態別対応セミナー介護予防編

当事業所では、利用者の社会参加が重要であることを理解しつつも、それに向けた取り組みが進んでいないことが課題でした。そんな中、本研修の案内があり、今後の取り組みの参考にしたいことから参加させていただきました。

研修では、「修了」できる人が修了できるための取り組み、地域共生社会を見据えた対応、要支援者の状態像と心理的背景、利用継続している方の社会参加が進んでいない現状とニーズの低さ、そこから、介護予防の理念や考え方、個別性を考慮した活動、目標設定のポイントと実行力を上げる重要性について学びました。実践報告からも、具体的な目標設定と居宅訪問や移行先への訪問支援、社会資源マップ作製、ボランティアスタッフとしての社会参加などの工

夫について学ぶことができました。

グループワークでは、通所内で完成されたコミュニティからの変化を望まない利用者への課題が共通し、利用者との合意目標の設定、その目標達成に向けた共通認識を職員全員で持つことの重要性について共有できました。

研修で学んだことを活かし、少しでも多くの利用者が当事業所を踏み台に、自己実現と地域への社会参加やそこでの役割を持ち、より充実した生活になるようにサービスの質の強化に努めてまいります。



通所リハビリテーション
シルバー園
理学療法士 金城 強太

私は医療法人大誠会内田病院の大誠苑通所リハビリテーションに勤務して8年目、理学療法士としては15年目を迎えます。臨床経験を通じて、心身機能の回復だけでなく、「活動」や「参加」といった生活全体に焦点を当てたリハビリテーションの重要性を実感してきました。当事業所では利用者様の約7割が認知症を有しており、心身機能の維持向上はもちろん、その方らしい生活や社会とのつながりを取り戻す支援を大切にしています。

認定デイ・ケアマスター取得にあたり、在宅リハビリテーションエキスパート・ジェネラリストコースを受講し、他職種の専門性や他事業についての理解を深めました。看護、介護、栄養、相談援助など、それぞれの職種が持つ視点や役割を学び、その知見を日々の実践に活かしています。この学びを通じて、チームアプローチの質向上や多職種連携の推進、さらには地域の医療機関や他事業所との連携強化に努めています。

私はリハビリテーションを「社会参加の入り口」として位置づけ、地域との交流や法人内保育園との連携を積極的に推進しています。特に保育園児とのふれあい活動は双方にとって



すぱっと・らいと

～あなたの職場のプロフェッショナル～

今回は、社会医療法人甲友会 西宮協立デイケアセンターほほえみ・西宮協立デイケアセンター第2ほほえみにて、相談窓口を担当しているお二人にお話を伺いました。

介護福祉士
宮武 貴子さん



介護福祉士
大和 恵美さん

委 員：どんな役割を担っていますか？

宮武・大和：「相談窓口」という役割で、業務としては新規利用の問い合わせ対応と契約までの連絡調整を行っています。具体的には事業所へ直接見学に来られた方への対応や、ケアマネジャーと利用者様・ご家族とこまめに連絡を取り、スムーズな利用につながる支援を担当しています。

委 員：相談窓口を担当してみて、どのように感じていますか？

宮 武：事業所の顔となる役割なので、第1印象が全てだと思う。利用者様やご家族は期待と同時に不安も抱えておられるため、それを安心に変える大切な役割だと感じています。

委 員：担当してみてよかったですとは、どのようなことですか？

宮 武：連絡を取るなかで繰り返し対話を重ねるうちに、相手の言葉に隠された気持ちを感じ取ることや、気持ちの変化を間近で感じることができたときにやりがいを感じます。

大 和：介護報酬制度について深く学ぶ機会となり、当事業所の強みと取り組みをケアマネジャーに提案できるようになりました。これは窓口を担当したからこそ学べたスキルだと思います。



委 員：ケアマネジャーとの連携で心がけていることはありますか？

宮 武：ケアマネジャーの思いや、当事業所への利用目的なども知ることができることになりましたので、意見や希望も尊重しつつ、こちらの事情も伝えるようにするなど、お互いに気持ちよく連携できる関係性を築くことを心掛けています。

大 和：利用者様の状況を「しっかり聞き取ること」と、いつでも気軽に相談してもらえるよう「話しさずさ」を第一に考えています。

委 員：事業所内スタッフとの多職種連携で気をつけていることはありますか？

大 和：新規利用時には、利用者様ご家族ケアマネジャーから聞きとった事実を確実に申し送ること。そしてスタッフへ依頼した後も、投げっぱなしにせず確認すること大切にしています。利用された時に「電話したのは私です」と、顔を見せ安心していただくよう心がけています。

宮 武：スタッフ達と話し合う際には、当事業所の都合だけでなく、利用者様の視点、他サービス関係者の視点を持ち総合的に考えた発言をすることを常に意識しています。



委 員：今後の抱負を教えてください。

宮 武：デイケア以外の様々なサービスや地域の方とも積極的につながりを持っていきたいです。「ほほえみに相談すれば大丈夫」と思っていただけるような、地域の頼れる相談窓口になることが目標です。

会員施設自己紹介

医療法人仁泉会 介護老人保健施設ハートランド

通所リハビリテーション

〒034-0041 青森県十和田市大字相坂字高清水 78-450

本コーナーにて「ぜひ私の施設を紹介したい！」という会員様は、事務局までご連絡ください。



沿革・施設紹介

当施設は、雄大な八甲田山山麓を西側に望む青森県十和田市に、入所100床・通所リハビリテーション定員100名の老健として平成6年7月設立、今年で開設31年目を迎えることができました。

利用形態は6-7時間を中心に、1-2、2-3、3-4、4-5時間と利用者様の多様なニーズにこたえるべく、さまざま時間帯に対応しております。利用者様がハートランドに「また来たい」「リハビリを続けていきたい」と思っていただけるようなリハビリや環境づくりを行っています。



「また来たい」と思っていただく環境づくり

当施設ではPT・OTによる作業療法・理学療法はもちろん、STによる言語訓練に力を入れております。また、利用者様が自発的に取り組んでいただけるような環境づくりに力を入れております。利用者様が自由に使っていただけるPCブース、ビーズ工芸を作成していただけるブース、ゲーム機を使用したアクティビティを行えるブースなどを設置しています。今後も利用者様からのご要望をもとに新しい企画・ブースができるか検討していきます。



地域医療との連携強化

併設事業所として、訪問看護ステーション「えがお」があり、十和田市を中心に地域の在宅医療を支えております。当施設と訪問看護の連携を強化していくことで、在宅で生活されている介護度の高い利用者様の受け入れを行っています。十和田市内でも在宅生活を望まれる利用者様のニーズは日々高まっております。利用者様の「少しでも長く自宅で過ごしたい」という願いを実現できるよう、今後もさらに連携を強化していきたいと思っております。



一般社団法人 全国デイ・ケア協会

当会の前身である、全国老人デイ・ケア連絡協議会は1994（平成6）年、老健のデイケアや病院・診療所のデイケア等、全国様々あるデイケアを提供する施設の有志が集まり、情報の共有化・職員の研修・研鑽の機会提供等を目的として開設し、これまで活動を続けてまいりました。

現在当会は介護報酬改定における通所リハビリテーションの窓口を担い、報酬改定時においてはリハビリテーションマネジメントと通所リハビリテーションの意義を問い合わせ、加算として位置づけ、質に関わる根幹を表現してまいりました。

また、重度者に対してもより手厚いケアが提供できるサービスとして、地域でのリハビリテーション資源として重要であることを明確にしてまいりました。生活行為向上リハビリテーションの普及については特に、厚生労働省および各種団体との連携をとし、研修や企画に参画し現在に至ります。

これも一重に、会員施設の皆様から頂いた多くのご意見や、ご協力の賜物でございます。

については、今後一層地域でのデイ・ケアの役割を全うするために、協会としてより多くの「声」を賜りたく、皆様のお力を貸しください。

より一層、通所リハビリテーションが地域に必要とされ地域生活の中核を担うサービスとなるために、今後とも皆様のご協力を願い申し上げます。

会員特典

Join Us

●当会主催研修会、研究大会を会員価格にて参加可能

- ・全国デイ・ケア研究大会、リハビリテーション・ケア合同研究大会
 - ・主催研修会
- ※オンライン開催の研修会も多数企画してまいります

●「デイケアニュース」の定期発送

- ・年2～3回発行しております。
- 各種研修会情報、協会の活動報告、トピックス、会員施設紹介などご提供しています。

●制度関連や現場で困っていること等の問い合わせが可能

- ・原則、会員様のみご対応させていただいています。

●会員ページの閲覧が可能

- ・各種資料のダウンロード、研究大会抄録集、当会実施アンケート結果などの閲覧が可能です。
- 今後さらなるリニューアルを検討しています。

●会員への定期的なメール配信

- ・研修会案内
- ・制度関連情報 等

※正会員（事業所）の職員は全員上記特典の対象となります。

一般社団法人 全国デイ・ケア協会 事務局

住所：〒101-0047 東京都千代田区内神田2-4-2 一広グローバルビル5階
TEL：03（5207）2710 FAX：03（5207）2711
E-mail：info@day-care.jp URL：www.day-care.jp

編集後記

早いもので、今年度最後のデイケアニュース発行となりました。当会においては、今年度も研究大会や各種研修会の開催、調査研究事業の実施など、デイ・ケアが地域の皆様に貢献できるよう様々な取組みをしてまいりました。また、ホームページのリニューアルや公式Xの開始など、当会の広報活動にも尽力した1年でもございます。この機会にぜひ公式LINEともどもフォローしていただき、当会の取組みを地域に繋げていただけると幸甚です。

さて、今号ではリハビリテーション・ケア合同研究大会の振り返りや第52回全国デイ・ケア研究大会2026in名古屋・愛知のお知らせなどを掲載しております。その他様々な研修も企画しておりますので、今後も協会活動へのご参加・ご協力をよろしくお願いいたします。

野長瀬 高志（全国デイ・ケア協会 広報委員会）
介護サービススマイル永生